

仮説と検証05

科学のABCそのものについての説明は、ひと段落つきました！よく理解できた人が多かったようで良かったです。

今日の授業が改めると科学のABCについて理解した。特に検証後の結果が、仮説を支持だった場合、仮説を支持だった場合のそれぞれのABCのくり返し方について理解出来た。仮説を支持出来ても安心せず検証をくり返すことが法則へつながることは支持への信憑性を証明に存在を考える。

今日は科学のABCのまとめの回ということで、課題も自分でABCをたてる為に気を付ける部分を再確認した。仮説Bをたてる時にこれを検証しやすい形にすることである。また、今回の課題の延長としてこれから科学のABCを使う時に大事なこともいくつか学んだ。まず1つの仮説が支持されただけでは不十分であり、他にも違うCを繰り返して仮説を強固なものにすること。そしてあえて違ってしまう仮説もBでたてて否定することである。

何回検証したらいいのか、という質問もありました。答えは「無限に」です。法則の成果を利用して何かをしているのは、実際には検証の一部と言えます。

5回中、4回だったら、「たまたま」と言えそうです。でも、5万回中、4万回だったら？そこいらへんの線引について提案してくれるのが統計学です！勉強すると強い味方になるので、ぜひ、興味を持ってもらいたいです。

自分で出ている時点で言えないでいい。確率というものは回数を重ねないと精度が上がる。このように100%出すことが前提の実験を何回回数重ねても意味がなくなる。統計学で。

マジックを見て、視覚的な先入観から仮説や検証を出すことはできるか、先入観が邪魔をするため正しい答えを導き出したいと考えた。マジックには自由でいいことを利用していい。Good!

いい指摘です。マジックはまさに、私達の先入観、思い込みを利用しているわけです。ある意味、マジックは、私達がそうしたものから自由でないことを教えてくれます。マジックのネタがわかったとき、自由になった感じがするのは、Liberal Arts 体験と言えそうですね。

ペットボトルは真空ではない。今回の授業で印象に残っているのは真空の実験です。

ホースを持って階段を登るのは真空の実験ですが、ペットボトルの上の空間は、全然、真空じゃありません！そこは気をつけてください。ペットボトルの実験は興味を持ってもらえてよかったです！

今日の授業もレポートを取りながら受けることができた。ザラッ上手にノートを取るコツは、てきとる思い、ていど。可憐な感じ！

素晴らしいですね。皆さんはどうでしょうか？ノートを取る練習はできていますか？